

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市営自転車等駐輪場(南部ブロック)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	事業者名:川崎市ビルメンテナンス業協同組合 代表者:理事長 竹中 伸幸 住所:神奈川県川崎市川崎区南町20番地3	評価者	自転車対策室調整担当課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	建設緑政局自転車対策室

2. 事業実績

利用実績	<自転車> 一時利用64%(73%)、定期利用101%(96%) <バイク> 一時利用68%(54%)、定期利用102%(86%) <全体> 84%(77%) ※( )内は平成25年度の値
収支実績	<収入> 利用料金収入 419.0百万円 (計画 430.2百万円) 自主事業収入0.9百万円 <支出> 管理運営経費 427.7百万円 (計画 423.0百万円) <納付金> 基本 34.5百万円、変動 112.4百万円 (計画:基本35.0百万円、変動112.0百万円) 行政財産使用料0.7百万円
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通系ICカードでの料金支払いが可能となる施設を1箇所増やし、利便性の向上に努めた。</li> <li>2施設に防犯監視カメラ12台、AED(自動体外式除細動器)1施設、災害時無償提供飲料自動販売機1施設の増設等、防犯や非常時に対する取組みを継続して実施した。</li> <li>市が推進する緑のカーテン事業へ9施設で協力、こども110番への登録を引き続き行うなど、人による管理の特徴を活かしながら市の取組と連動した取組みを実施した。</li> </ul>

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3	3.6
		利用者満足度は一定水準を確保しているか			
		調査結果の結果を分析し、満足度向上のための取組を実施しているか			
	事業成果	一定水準の利用率で運用されるよう努力がなされているか	6	3	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
	(評価の理由)				
	利用者満足度調査については、今年度2回アンケートを実施し、的確かつ総合的に把握することに努めた。事業成果としては、南部地区では自転車等利用者が伸び悩んでいるなか、収容台数減もあり全体では前年度の利用率を上回っている。利用率向上のために自転車等駐輪場の各種案内等の掲示、定期の空き状況のホームページ掲載、交通系ICカード対応の精算機を1施設に導入するなど、利便性向上に対する取組みを引き続き行っている。				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		期間中における経費削減の具体的取組が実施されているか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6
		市が想定する納付金(変動納付金が得られているか)			
適切な金銭管理・会計手続き	利用料等の徴収や預かり金等の金銭管理を適切に行ったか	6	3	3.6	
	利用状況と、利用料金収入の整合について確認を確実に行ったか				
	(評価の理由)				
	支出については、全管理事務所で事務処理PC化を推進して省資源化、また機械化施設、定期利用のみ施設については管理員を巡回とするなど経費削減にも努めている。収入は、今年度事業計画対比97.4%ではあるものの対前年度比1%収入増となっており、利用料金収入に伴う市へ納付金である変動納付金を112,4百万円納付した。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	自転車等放置禁止条例、同規則、協定書、仕様書等に基づいて適切に業務を執行しているか	10	3	6.0
		利用者に対する受付や案内が適切に実施されているか			
		市営駐輪場について、広く周知されるような取組みを行ったか			
	業務改善によるサービスの向上	利用者からの苦情等を、他の市営駐輪場にも反映する取組みを行っているか	6	5	6.0
		駐輪場利用を促進するための改善が、継続的に行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	苦情や意見等への対応は適切だったか	6	5	6.0
コールセンターは適切に運営され、利用者への対応は確実に実施されているか					
自主事業	自主事業等は、駐輪場の利便性向上に寄与しているか	10	2	4.0	
	自主事業等は、放置自転車対策に寄与しているか				
	(評価の理由)				
	ホームページにおいて定期空き情報の提供、施設への周辺案内図や法改正に基づく自転車新ルールへの掲示、交通系ICカード対応の精算機の増設など、サービス向上に向けた取組みが行われている。新設駐輪場のオープンに向け、暫定駐輪場利用者に切り替えの案内や新規利用者に案内を実施し、スムーズな施設移転を行った。自主事業として、AEDや災害時無償提供飲料自動販売機の増設を行うなど、収益面だけでなく非常時に対する取組みも進めている。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	適切な管理運営を可能とする人員配置を行っているか	5	5	5.0
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	待遇	新規雇用の管理人に対し、着任前に研修を行い、待遇などについて理解させる取り組みを行っているか	5	2	2.0
		継続的に待遇の改善に向けた取り組みを行っているか			
	安全・安心への取組	緊急時の組織体制は適切か (災害、事故等に対し、迅速な対応ができる組織体制を設定しているか)	5	5	5.0
		事故発生時に適切な対応を行ったか (被害者への対応、行政への連絡、組織内での情報共有)			
	コンプライアンス等	関係法令を順守して業務を行なっているか	2	4	1.6
		個人情報の取扱いは市条例やマニュアルに従って適切に行なったか			
		対象労働者の労働条件(労働時間・作業報酬下限額・健康管理等)は適切に行なったか			
		再委託した業務の履行状況は適切に行っているか			
(評価の理由) 人員配置については、各施設に的確な係員を配置しているが、不正利用者に対応するため、適宜増員又は巡回時間の延長を実施した。 管理事務所への強盗や窓ガラスが割られる事件があった際にも、迅速に報告等がなされ、適切な事後処理が行われた。 一部の係員が禁止地区での喫煙を行っていたため、再度係員に待遇に関する研修を実施し、改善への取り組みを行った。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	駐輪場・駐輪ラック等施設や設備の保守、点検を確実にを行ったか	4	4	3.2
		不具合が生じた場合に速やかな対応を行ったか			
		利用者視点で施設や設備の安全は保たれているか			
	整理・清掃	自転車等の整理・整頓を実施し、利用者の安全確保に努めたか	3	4	2.4
		避難経路に自転車や物が置かれていないか			
	警備業務	防犯対策として、施設内及び敷地内の巡回警備等は確実にを行ったか	3	5	3.0
	景観・環境	外構の植栽を適切に管理(剪定、害虫駆除等)したか	3	5	3.0
		使用電力の削減のための取組を行ったか			
	備品等管理	管理日報・点検記録等の記録を適切に整備・保管しているか	2	5	2.0
		備品の整理や整頓を適切に行なっているか			
		運営上必要な消耗品等の補充を適時かつ十分に行なったか			
	放置自転車の管理	施設内で撤去対象自転車等の利用者への警告を確実に行ったか	2	5	2.0
		施設内で撤去した自転車等に関する区役所、保管所への連絡及び引継を適切に行なったか			
(評価の理由) 駐輪場施設・設備について、保守管理・施設清掃、警備業務など適切に対応している。 台風の際に機械式駐輪場内に雨水が流入し、地下施設の一部が浸水したため、機械式施設を停止し、駐輪場利用者へは代車を貸し出すことよりの確かな対応を行った。 駐輪場内で車両に対するイタズラが数件報告されており、順次駐輪場内に防犯カメラを設置した。					

100

## 4. 総合評価

評価点合計	73.2	評価ランク	B
-------	------	-------	---

## 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

交通系ICカード対応の精算機の追加導入、ホームページによる定期待ち状況の公表やネットワーク管理による事務量の軽減、管理員適正配置及び一部施設の巡回対応など、利便性を向上させる取り組みや、人件費を削減する取り組みが行われており評価できる。

自主事業として防犯カメラ、AED、災害時無償提供飲料自動販売機の増設を行うなど、防犯や非常時に対する取り組みも継続的に行っている。

## 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

利用者の利便性に配慮しつつ、利用状況や安心・安全等を踏まえた管理員配置とするとともに、料金未払いなどの不正利用者への対応を適正に行うこと。また、収支均衡が図られるよう、収入確保及び経費削減を検討されたい。

自主事業としてAEDの設置を進めるなか、その設備を有効に活用できるよう、職員定期研修に組み込む等の取扱いの周知を図ること。また、利用者要望の高い防犯カメラの設置についても積極的に検討されたい。